

HP Operations Orchestration

Windows および Linux オペレーティングシステム 向け

Virtualization コンテンツパックバージョン 1.1.0

HP 00 ソフトウェアバージョン 10.x 向け

Virtualization リリースノート

ドキュメントリリース日: 2014 年 5 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 5 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインターフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

AMD、AMD Arrow ロゴはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。

Google™ およびGoogle Maps™ は Google Inc.の商標です。

Intel®、Itanium®、Pentium®、およびIntel® Xeon®は、Intel Coporationの米国およびその他の国の登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, およびWindows Vista® は、Microsoft Corporationの米国登録商標です。

Oracleは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Groupの登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

Virtualization リリースノート	1
目次	4
概要	5
コンテンツパックの統合	5
OO Virtualization コンテンツパックのデプロイ	6
修正された不具合	7
既知の問題	8

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Virtualization コンテンツパック 1.1.0 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれていません。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

Virtualization コンテンツパック 1.1.0 は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、OO Virtualization コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Citrix Xen Server	5, 6
Hyper-V	2008、2008R2
KVM	libvirt 0.8.7 および QEMU 0.12.1、libvirt 0.8.7 および QEMU 0.12.1
System Center Virtual Machine Manager	2008 R2、2012、2012 SP1、2012 R2
VMware vSphere	4.0、4.1、5.0、5.0u1、5.1、5.5
VMware ESX	3.5、4.0、4.1
VMware ESXi	3.5、4.0、4.1、5.0、5.1、5.5
VMware Virtual Center (vCenter)	4.0、4.1、5.0、5.1、5.5

OO Virtualization コンテンツパックのデプロイ

HP Operations Orchestration Virtualization コンテンツパック 1.1.0 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.02 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP OO Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、QCCR (Quality Center Change Request) 番号です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C10286	「Run SCVMM Commands」オペレーションが同時に2つのSCVMMホストに対して実行された場合に失敗する	<p>アウトオブボックスのライブラリオペレーション「/Library/Integrations/Microsoft/System Center Virtual Machine Manager/Run SCVMM Commands」を使用する場合、オペレーションが最初に実行されたときに、指定されたホストに対するRunspaceが作成され、次の要素から構成されるキーを使用してセッションに記録されます。</p> <pre>runspaceKey = strUser + authType; // SCVMMIAction.cs method: Execute</pre> <p>ここにはホスト名が指定されていないため、SCVMM コマンドを別のサーバーに対して実行した場合でも、同じユーザーと認証の種類を使用する他のすべての呼び出しがこのRunspaceを通じて実行されます。</p>
QCCR1D168999	拡張要求: VMware オペレーションでの注釈の設定	<p>VMWare 統合 "vSphere 5.x" で、顧客から次のような新しいオペレーションの追加が要求されました。</p> <ul style="list-style-type: none">- 仮想マシンでの注釈の追加- 仮想マシンでの注釈の削除

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

dataStore 入力がデータストアクラスターの場合、「Add New Disk to VM」オペレーションが失敗する

「Add New Disk to VM」オペレーション (/Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure and vSphere/Configuration/Add New Disk to VM) は、dataStore 入力がデータストアクラスターの場合、失敗します。dataStore 入力が単一のデータストアである場合、オペレーションは成功します。

vSphere: 「Remove Datastore from Host」のエラーメッセージが変化した

dataStore 入力に無効な値を指定して実行すると、「Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure and vSphere/Host/Storage/Remove Datastore from Host operation」オペレーションは、vSphere 5.1 より前とは異なるメッセージを返します。以前のメッセージは「dataStore input is required」でした。現在のメッセージは「datastore must not be null」です。

Scvmm: 「Get Virtual Disk Drive」フローで無効なテンプレートに対して返されるメッセージが変化した

template、networkUtilization、または cpuMax 入力に正しくない値を指定して実行した場合、フローは、SCVMM 2012 では SCVMM 2008 R2 とは異なるエラーメッセージを返します。

「Create VBD」オペレーションが問題のある VBD を作成する

HP OO で VBD を作成する際に、アタッチされた VBD (ディスクと CD) が、XenCenter インタフェースで直接アタッチした場合と比べて、ホットプラグ/アンプラグ (アクティブ化/非アクティブ化機能) オペレーションで異なる動作をします。

XenServer - 「Revert To Snapshot」が有効な入力に対して失敗する

「Accelerator Packs/Virtualization」フォルダーの「Revert To Snapshot」フローは、無効な電源状態エラーで失敗します。これは、このフローが現在、スナップショットを仮想マシンとして取得し、「Start VM」オペレーションをスナップショットに対して実行しようとするためです。

オペレーション (CustomizeWindowsGuest) が、ターゲット IP スタック情報とコンピューター名をカスタマイズしようとして、vSphere 5.5 クライアント接続サービスを再起動する

「CustomizeWindowsGuest」オペレーションを VMware ゲストに対して使用しようとした場合、オペレーションは失敗し、ターゲット VMware デバイスの IP スタック情報とコンピューター名をカスタマイズしようとして、vCenter Server 上の vSphere 5.5 クライアント接続サービスを再起動します。ホストはシャットダウン/再起動コマンドを受け取ったように見え、数分後に再び現れます。

「CustomizeWindowsGuest」オペレーションは、IP アドレス、ゲートウェイ、DNS サーバー、タイムゾーン、プロダクトキーなどのいくつかの IP 情報を変更します。

「Create VM Folder」が重複するフォルダー名に対して失敗する

フォルダーを作成する際に、Virtual Center で同じ名前のフォルダーが別のパスに存在した場合、オペレーションは正常に完了しますが、フォルダーは作成されません。

「Add Existing Disk To VM」、「Add New Disk To VM」の各オペレーションが正しく動作しない

次のオペレーションを実行する場合、8 つ以上のディスクを持つ仮想サーバーにアタッチしようとする
と、エラーが発生します:

- /Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure vSphere/Virtual Machines/Configuration/Add New Disk To VM
- /Library/Integrations/VMware/VMware Virtual Infrastructure vSphere/Virtual Machines/Configuration/Add Existing Disk To VM

SCVMM のエラーメッセージ

無効な所有者入力の値を指定して実行した場合、「Library/Integrations/Microsoft/System Center Virtual Machine Manager/Virtual Machine/Set Virtual Machine」、「Library/Integrations/Microsoft/System Center Virtual Machine Manager/Hardware Profile/New Hardware Profile」、「Set Hardware Profile」の各フローは、SCVMM 2012 では SCVMM 2008 R2 とは異なるエラーメッセージを返します。

